

板野中学校 同和教育だより

## M Y S K Y 第13号

マイ・スカイ

2001年11月27日(隔週火曜日きまぐれ)発行

p(&gt;\_&lt;)q

発行者

編集・文責  
齋吉成正士

12月1日から6日まで、板野町文化の館で解放文化展が行われます。なかでも1日午後1時からは、さくらホールで意見発表講演会として、板野東・西・南各小学校や板野高校などから意見発表が行われます。特に必見は、中学校の劇「SEASONS II」と高校生友の会「真友会」です。中学校の劇は、みなさん一度は観ているかもしれません、体育館で観ると舞台で観るのとは大違いです。人権部みんなでがんばってくれてますので、より完成度の高い「SEASONS II」を、もう一度みんなで観てみてください！

また「真友会」からは、意見発表とともにバンド演奏を聴かせてくれるそうです。みんなの先輩に混じって、現役中学生も「真友会ジュニア」として出演しますので、たくさん応援に来てくださいね！

そして、ホールの外にはたくさんの作品が並べられていることと思います。自分や友達、親戚や知り合いの作品には、特に目を引かれることがあります。でも、今ひとつ覚えておいてほしいことがあります。それは、その作品の見た目だけを見るのではなく、その作品を制作した人が、いつ、どこで、どんな思いでその作品と向き合ったのかという想像を思い巡らせてほしいということなのです。すべてじゃなくって構いません。一つでもいいのです。そういう風に見ていくと、他の作品もあたたかい眼差しで見ることができるように思えるのです。

逆に見た目だけに目を奪われてしまうと、制作した人や作品自体を、せせら笑ったり、バカにしたりしてしまうかもしれません。そういう言動は、結果的に部落の人々や「障害」をもった人々など、被差別の人々を笑い、バカにすることにもつながるように思えるのです。そんな薄っぺらい人間にはなりたくないものです。どうぞ、心を込めて作品も見てきてください。



## ❖ 「息子よ 息子」さてさて、あなたは……？

### 息子よ 息子

路上で、交通事故がありました。

タンクローリーが、父とその息子をひいたのです。

息子はすぐ、救急車で近くの病院に運ばれました。

ちちおや まち びょういん はこ  
父親は、となりの町の病院に運ばれました。

息子が病院に運ばれると、すぐに外科医が、彼を治療しようとしました。  
そこで外科医は彼を見るなり、  
「息子!! これは私の息子!!」となげき、悲しみました。

前号の宿題どうでしたか？あなたはこの文章をどう読みましたか？

いろんな読み方があるのかもしれません。「単なる他人のそら似」とか、「『父親』は二人目の父で、この『外科医』が本当の父だった」とか、「実は『息子』は双子で、養子として離れ離れになっていて、この『息子』は自分の子どもでない方の双子だった」とか……。でもここで気づいてほしいのはこんなことではなく、「外科医は母親だった」ということです。どうです？みなさんは一緒にいましたか？

実は「外科医=男性」といった先入観・思い込みが、私たちの判断を狂わせてしまうのです。確かに外科医は、仕事の特性上男性が多いのでしょう。だからといって女性にできないということはないはずです。むしろ女性の患者さんからすれば、女性の外科医の方が心強く思えるかもしれません。でも、そんな先入観・思いこみが、無意識のうちに仕事選びの決め手になつてはいないでしょうか？そんな仕事は他にもないでしょうか？…？①

言葉が特定の性を意味する場合があります。例えば「女医」。女性のお医者さんを、敢えて特別にそう呼ぶんですね。また男性の場合は「棋士」というのに、女性だけ「女流棋士」なんて呼ぶこともあります。どうして敢えてそんな呼び方をするのでしょうか?そんな言葉は他にもないでしょうか……?②

「ジェンダーフリー」聞き慣れない言葉かもしませんが、「性による差別をなくそう」というような意味です。私たちの身のまわりには、空気を吸うがごとく、無意識のうちに染み込んでいる差別意識がたくさんあります。そんな一つ一つに気づこうとし、気づいていくことが、自分の差別意識を小さくしたり、身近な差別を解消していくことにつながるのではないかでしょうか。今回、みなさんに①②という「問い合わせ」をしておきますので、気づいた人は、是非お知らせください。吟味したうえで、読者のみなさんに紹介したいと思います。



先日授業参観が、町学同研(板野町学校同和教育研究会)の主催で行われました。1年生では「人の値うち」という資料で、2年生では平和学習を通じて、3年生では「一本の大根として」という資料でそれぞれ授業を行いました。全クラスまわったのですが、参観者も多く、授業も活発で、見ていて楽しくなってくる場面がたくさんありました。もちろん考えさせられる場面もありましたが……。さて、実際に授業をしていた中学生のみなさんは、一体どん

な感想を持ったのでしょうか……？

- 小学校の懐かしい先生が来たのでビックリしました。
  - みんなのお母さんたちが来ていたのでちょっと緊張しました。でも一回だけでも発表できたので良かったです。
  - 自分から発表できなかったけど、みんなの意見が聞けて良かった。
  - 楽しかった。いーっぱい発表した。明日からガンバラナ!! 全体学習もガンバラナ。
  - 「人の値うち」を勉強しました。思っていたよりも手を挙げれなかつたので、全体学習ではあげれるといいです！
  - 「人の値うち」とは何なのだろう？もう少しきちんと考えてみたい！
  - 昨日の参観日は平和についてよく考えたと思いました。これからも平和について考えたり、命を大切にていきたいです。

な～るほど！みなさんも結構有意義な時間だったようですね！実は参観していただいた先生方や保護者のみなさんにも感想文を書いてもらいました。その中の一つを紹介してみたいと思います。

今日は参観させていただき、ありがとうございました。生徒の中から、「自分が追い込まれた時に余裕<sup>よゆう</sup>が持てるよう」いう言葉<sup>ことば</sup>がありましたが、本当にその通りだと思います。その他いろいろな発言<sup>はつげん</sup>がたくさんありました。生徒たち自身「これからがんばっていかなかん！」という気持ち<sup>きがる</sup>を持っているのだなということが伝わってきました。先生が生徒たちに対して気軽に<sup>きがく</sup>言葉<sup>ことば</sup>をかけているふしぶしの中に、一人ひとりの生徒<sup>せいと</sup>をあたたかく見守り、時には厳しく、時には優しく接しながら“将来<sup>さがい</sup>に向けて自分なりの目標<sup>もく표</sup>を見つけ、それに向かって進んでいってほしい”との強い願い<sup>ねがい</sup>をもたれているのだなということを痛感いたしました。今日は本当にありがとうございました。

私も見ていて、確かに「生徒と担任の先生の距離が近いなー」と感じました。まあ、何もかもすべてが良かったわけではないでしょうが、たりない部分については、これからも同和教育を進めていく中で、少しずつでも補っていかなければと思います。これからも、もっと良くなるように、みんなで力を合わせてガンバロー！



「アイ・ラヴ・フレンズ」観に行きませんか?!

じょうかい じょうえい  
以前紹介した「アイ・ラヴ・フレンズ」ですが、次の日程で上映されるそうです。

# 《MY SKY 第13号》

アタック平和…12月1日(土)～14日(金)

阿南夢ホール…12月15日(土)

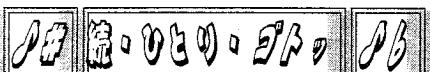
藍住町民会館…12月16日(日)

小松島ミリカホール…新年1月13日(日)

遠い所はなかなか行きにくいので、蔵本駅前のアタック平和か藍住町民会館が行きやすいと思いますよ！手話の世界って、知らない人には不思議な感動がいっぱい詰まった玉手箱のような世界です。この機会に、是非その感動を味わってみてください。そして「障害」者問題を自然に学んでみてはいかがですか？私も観に行こうと思っています！みなさんも、ご家族揃って！

なお、4ヶ所どこでも入れる共通鑑賞券を、次の代金で販売しています。購入したい人は、代金を持って吉成まで。

**共通鑑賞券** 一般・学生 1300円(当日1600円) 小中高生 900円(当日1000円)



■12月9日には南公会堂で「南公会堂祭り」が行

われます。「南に来てもらい、そこに暮らしている人々と交流し、南のことをよく知つてもらおう！」という強い願いのもとにつくられたのが、このお祭りです。同じ町内でありながら、小学校が違えば行ったことのない人も多いんじゃないでしょうか？地元のお祭りではありますが、差別や偏見をなくすためにつくられたお祭りですから、たくさん的人に参加してほしいと思います。日曜日の午前9時から、2階体育館で発表会が行われ、11時くらいからはいろいろな模擬店も開きます。休みの日なので、例年部活動単位での参加も多くあります。この機会にぜひ、日頃学習会が行われている南公会堂に出向いてみてください！

## 緊急告知

先日行われた部落解放徳島県学習会中学生集会運営委員会(大人の会)で、急きよ次の日程で実行委員会(中学生の会)が行われることになりました。

### 部落解放徳島県学習会中学生集会実行委員会

**とき** 12月15日(土) 14:00～

**ところ** 同和対策推進会館(同対センター)

**参加者** 学習会中学生1・2年生

**交通** 引率教員の車

急に決まりましたが、実はこの案は、以前からあがっていたことなのです……。

これまで5月からスタートし、8月の本番に向けた実行委員会のみしか行われておらず、いろんな決め事を消化するので精一杯でした。また、8月から翌年の5月まで半年以上もの

間何もなかつたので、せっかくいい雰囲気になつても毎年ゼロからのスタートになつていたのです。しかし本当は、もっとゆとりを持つて、互いのことを分かり合う交流をしたり、まだ知らない部落問題について学び合つたりしたかったです。そしてそんな取り組みの集大成として、8月の本番を迎えたかったです。

そんな思いが、やつと一步前進しました。学習会1・2年生のみなさん！15日は是非予定に入れておいてください！誘い合ってみんなで行きましょう！そしてたくさんの友達をつくり、いろんなことを学び、元気になって帰ってきましょう！

ちなみに、行こうと思う人は、学級担任の先生か同教団の先生まで申し出ておいてくださいね！お家の人の了解もよろしくね！

## 000 : 11月の日程 000

- 12月1日(土) 板野町解放文化展 意見発表講演会(13:00~;文化の館さくらホール)
- 3日(月)~5日(水) 2学期末テスト
- 9日(日) 南公会堂祭り(9:00~13:00;南公会堂)
- 10日(月)~13日(木) 保護者面談
- 13日(木)・14日(金) 3年生実力テスト
- 15日(土) 部落解放徳島県学習会中学生集会実行委員会(14:00~;同対センター)
- 21日(金) 2学期終業式(冬休みは22日からだよ~ん)
- 26日(水) 第6回部落解放徳島県学習会中学生集会実行委員会執行部解散式(14:00~;徳島市内)